

教育民生常任委員会

12月14日、17日の2日間、付託された陳情審査2件と所管の事務調査を行った。

(福祉保健課)

人間ドック

問 年間の受診者数と負担金は。

答 11月末までに229人が受診された。「国民健康保険」加入者の場合、一人あたり3万7,000円の委託料がかかるが、個人負担金は5,000円である。

(教育委員会)

学校耐震工事

問 各学校の耐震改修と名和中学校の改修工事は。

答 緊急を要するIS値(構造耐震指標)の低い名和、大山中、大山小赤松分校を耐震設計委託に出す。名和中は、屋上防水工事や天井の張替え等必要な補修工事を行う。



教育民生常任委員会の学校訪問 (中山小)

スポーツ大会派遣

問 スポーツ大会に選手を派遣する際の補助金は。

答 全国大会出場時の補助金は、全旅費の1/2を補助しているが大人は上限2万円となっている。大会によって格差があり、補助金要項の見直しを検討している。

保育園司書の配置

問 幼児教育課に司書を置いた意義は。

答 幼児期から、本に親しむ環境を育むこと。毎日各保育所を巡回して読み聞かせを行っている。

(住民生活課)

環境測定業務委託料

問 環境測定業務委託料の減額は。

答 作業環境測定、ダイオキシン測定、ごみ質ばい煙測定等の委託料が、指名競争入札の結果、減額となったものである。

経済建設常任委員会

12月14日と17日の2日間、審議と所管の事務調査を行った。

(観光商工課)

高田工業団地完売

(株)タグチ工業(本社・岡山市、資本金1,200万円)の高田工業団地

進出の内定を受け、進出構想の説明を受けた。

同社は、建設機械アタッチメント(バケット、

粉砕機等)を設計・製作するメーカーで、平成21年春に操業予定の新工場では、30人程度が雇用される見込み。

(大山振興課)

計画に難色

高田工業団地が完売になったことから、20年度から、阿弥陀川西岸所子地区に、新たに工業団地を造成する計画が具体化することになった。

大山恵みの里構想の主要事業であり、新年度に計画されている、観光交流センター整備事業、農産加工場整備事業の概略

が示されたが、建設位置規模等、委員会内で異論が多く、再度の検討を求めた。

交流センターは、3月開通の名和インター付近に、農産加工場は、旧光徳小学校を活用して整備する計画。

大山恵みの里公社が進められる、大山町産品のブランド推進と一体的、効率的に施設整備が進められるよう求めた。

(水道課)

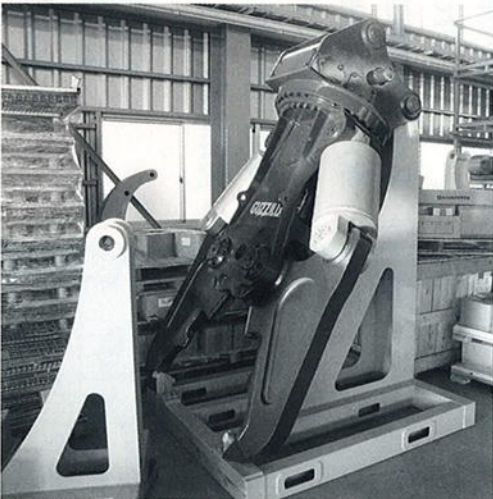
上下水道料金

合併以来懸案になって

いる上下水道加入金、上下水道使用料の統一の課題。1月に、町民の有識者による料金検討委員会が設けられ、今年度中に今後の方針案が作成されることになった。

経済建設常任委員会では、旧3町の経緯を踏まえた検討委員会の議論と、方針案の住民説明が十分なされるよう、担当課に要望した。

(株)タグチ工業進出決定！ 来春操業予定



タグチ工業が製作するアタッチメント